



京都府 京都青果合同(株) 『京野菜をアジア、米国へ』

【主な品目】

青果物(京野菜、果実)

【主な輸出先国・地域】

香港、米国、台湾、タイ、
インドネシア、ベトナム

【輸出取組の概要】

- ◆ 香港の飲食店で京野菜メニューを作成・商品化し、京野菜を多角的にPR。
- ◆ 卸売事業者として全国の産地から商品を確認し、周年供給可能な体制を構築。
- ◆ 国内印刷業者等と連携し、エチレン吸着剤等の鮮度保持資材を活用した香港・台湾向けの輸送試験を実施。

【輸出実績】(平成14年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
平成29年度	27,500	通年
平成28年度	21,000	
平成27年度	8,700	

【効果があった取組】

- ・ 展示会等のイベントに蒸し器と電子レンジを持ち込み、芋や豆の試食を実施することで、客を引き付けることができた。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出の取組を開始した時点で香港における日本産青果物マーケットは飽和傾向であり、後発になったため、他社や他地域との差別化が必要であった。
- ・ 京野菜は輸送中に品質劣化が生じやすいため、海上輸送中の鮮度保持。

【生じた課題への対応】

- ・ 香港の飲食店で京野菜メニューを作成し商品化するとともに、現地のインポーターと連携し百貨店やスーパーマーケット等において京野菜を利用したイベントを開催し、輸出先における京野菜のニーズを掘り起こすとともに認知度を向上。
- ・ 安価な船便による輸出体制の確立に向けて国内印刷業者等と連携し、エチレン吸着剤等の鮮度保持資材や包装資材の効果を測定。

【対応の結果】

- ・ 「京野菜」を切り札として、現地の小売店の売り場に食い込むことに成功。
- ・ 市場開設者と卸売業者、仲卸業者が連携し市場が一体となって輸出に取り組むことで、集荷力や安定供給力、信頼性といった卸売市場の強みが生かされ、着実に輸出が拡大。

【今後の課題・展望】

- ・ 現在の輸出先に加え、EU、ベトナム、マレーシア等の新たな輸出先を開拓するとともに、近隣の卸売市場と連携し、より安定した供給体制の構築。

【活用した支援・施策】平成26～29年度中央市場活性化推進事業(京都市)、京都産業21の事業

【ウェブサイト】 <http://www.kyoka.co.jp>

【連絡先】 担当者名: 果実部取締役 向瀬正人 TEL: 075-315-7200



香港の日本料理店及び現地レストランで提供した、京野菜を使用した特別メニュー



香港の幼稚園における、京野菜を使った食育活動